

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公開番号】特開 2009-149893 (P2009-149893A)

【公開日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-027

【出願番号】特願 2008-324622 (P2008-324622)

【国際特許分類】

C 0 8 C 2/04 (2006.01)

B 0 1 J 38/00 (2006.01)

B 0 1 J 23/96 (2006.01)

B 0 1 J 31/24 (2006.01)

B 0 1 J 31/40 (2006.01)

C 0 8 F 8/04 (2006.01)

B 0 1 J 45/00 (2006.01)

C 0 8 F 6/08 (2006.01)

【F I】

C 0 8 C 2/04

B 0 1 J 38/00 3 0 1 Q

B 0 1 J 23/96 Z

B 0 1 J 31/24 Z

B 0 1 J 31/40 Z

C 0 8 F 8/04

B 0 1 J 45/00 J

B 0 1 J 45/00 L

C 0 8 F 6/08

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 14 日 (2011.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉄残渣ならびに / またはロジウムおよび / もしくはルテニウム含有触媒残渣を任意に水素化されたニトリルゴムから除去する方法であって、鉄残渣ならびに / またはロジウムおよび / もしくはルテニウム含有触媒残渣を含む任意に水素化されたニトリルゴムの溶液を、( i ) マクロレティキュラーであり、( i i ) 第 1 級アミン、第 2 級アミン、チオール、カルボジチオエート、チオ尿素、およびジチオカルバメート基から選択される少なくとも 1 種の官能基で修飾されており、かつ ( i i i ) 平均粒度が、乾燥物基準で、最小 0 . 0 5 m m ~ 0 . 2 0 m m 未満である、官能化されたイオン交換樹脂と接触させることを含む、方法。

【請求項 2】

任意に水素化されたニトリルゴムであって、いずれも前記任意に水素化されたニトリルゴムの基準として、ロジウムを最大で 2 0 p p m、ルテニウムを最大で 2 0 p p m、および鉄を最大で 5 0 p p m、好ましくは、ロジウムを最大で 1 0 p p m、ルテニウムを最大で 1 0 p p m、および鉄を最大で 4 0 p p m、より好ましくは、ロジウムを最大で 5 p p

m、ルテニウムを最大で 5 p p m、および鉄を最大で 3 0 p p m、最も好ましくは、ロジウムを最大で 3 p p m、ルテニウムを最大で 3 p p m、および鉄を最大で 1 0 p p m 含む、任意に水素化されたニトリルゴム。